

I 基本構想の目的

- 長期的・総合的な観点から朝霞地区4市における適正な火葬体制の確立と周辺環境に配慮した火葬場建設を検討すること。
- 住民との合意形成に努めながら火葬場の整備を計画的に推進していくため、課題を整理し、基本的な枠組みとして、施設整備の方向性を導き出すこと。

II 朝霞地区4市の現状

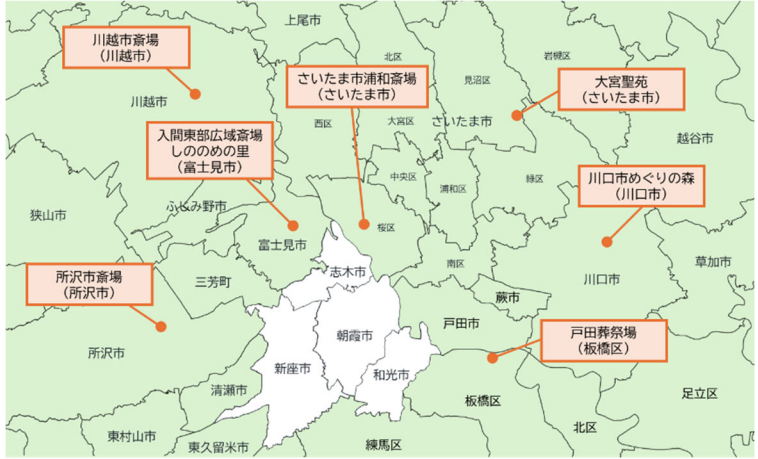
朝霞地区4市の現状として、現在、4市には火葬場がないため、民間を含めた近隣市の火葬場を利用している状況です。

そのため、利用可能な時間の制約や、利用料金が高額になる等の課題があります。

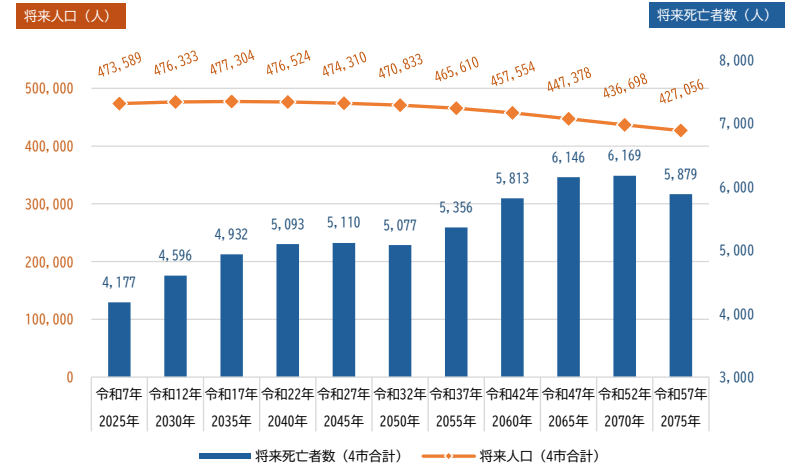
また、4市の死亡者数の推計は今後、右肩上がりで増加し、2070年には現在の約1.5倍の死亡者数が見込まれています。

そのため、近隣市の火葬場での受入れもより一層厳しくなるものと想定されます。

(1) 近隣火葬場の位置図



(5) 4市における将来人口推計及び死亡者数の推計



(2) 近隣火葬場の利用状況

施設名称	朝霞市	志木市	和光市	新座市
戸田葬祭場 (民設民営)	①78.7%	②40.2%	①94.9%	①71.7%
入間東部広域斎場しののめの里	②15.3%	①42.1%	②1.8%	②14.3%
さいたま市浦和斎場	③3.1%	③11.0%	③1.5%	⑤3.4%
川越市斎場	④1.8%	④5.0%	④1.4%	④3.8%
所沢市斎場	⑤1.0%	⑤1.8%	⑤0.3%	③6.7%

(3) 近隣火葬場稼働率 (4) 近隣火葬場の利用料金

施設名称	火葬の稼働率
所沢市斎場	98.1%
さいたま市浦和斎場	88.1%
入間東部広域斎場しののめの里	87.9%
川越市斎場	82.3%
戸田葬祭場 (民設民営)	59.8%

施設名称	市(区)内	市(区)外
戸田葬祭場 (民設民営)	59,600円	80,000円
入間東部広域斎場しののめの里	10,000円	80,000円
さいたま市浦和斎場	7,000円	56,000円
所沢市斎場	5,000円	60,000円
川越市斎場	無料	48,000円

III 火葬場整備の必要性

- 【現状】
- ・朝霞地区4市の市民は、地区内に火葬場がないため、近隣市や民間の火葬場を利用している。
 - ・利用可能な時間帯などにおいて、優遇を受けることができていない。
 - ・利用料金が、火葬場を所有している自治体の市(区)民と比較して、高い水準となっている。
 - ・市民や市議会からも火葬場設置の要望がある。

- 【今後】
- ・4市の高齢化の更なる進行やそれに伴う死亡者数の増加が見込まれる。
 - ・高齢多死社会を迎えると、各施設の稼働率が上がると考えられ、火葬場を所有している自治体の市(区)民が優先となり、4市の市民は、利用の制約が想定される。
 - ・災害時において、利用の制約が想定される。

4市共同の火葬場を設置する必要性は高い

IV 整備候補地の検討

(1) 候補地の選定

整備候補地は、下記の理由により選定しました。

- ・4市の中の公有地として大規模な土地(約23,000㎡)
- ・将来的に敷地北側に国道254号和光富士見バイパスが整備予定
- ・近隣河川の浸水想定エリアであるが、敷地の高上げ等により浸水対策を行うことが可能
- ・火葬炉(16炉)を運用するために必要な施設規模(式場や駐車場含む)を検討した結果、整備候補地の敷地内に設置可能

(2) 候補地の概要

所有者	志木地区衛生組合・志木市
所在地	志木市下宗岡一丁目7209-1内ほか(市街化調整区域)
面積	約23,000㎡

V 施設概要(予定)

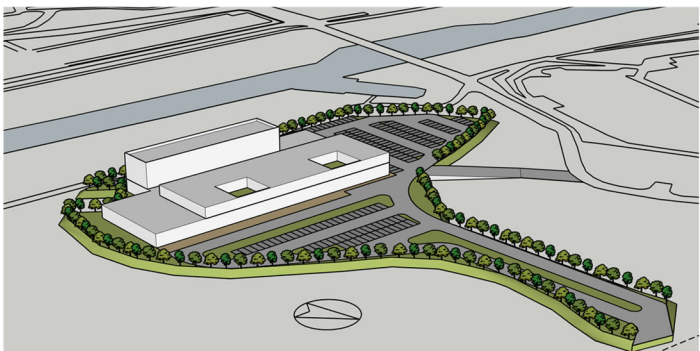
4市の将来死亡者数推計におけるピーク時(2070年)の死亡者数をもとに、必要火葬炉数の算定を行いました。また、火葬炉数に応じた必要諸室について整理を行い、利用ニーズの高い葬儀式場についても併せて整備の検討を行っていきます。

(1) 施設概要

敷地面積	約23,000㎡
規模	延床面積:約6,400㎡ 地上2階
火葬炉設備	標準型:最大15炉(内予備炉1炉) 動物用:1炉 ※2炉に対し1排気系統 ※供用開始時の炉数は設計時に決定
告別兼収骨室	7室
待合機能	待合室:14室 待合ロビー等
葬儀式場	大人数用:1室 中人数用:1室 ※パーティション等で分割可能
駐車場	一般用、管理用

※現時点で想定する施設概要です。

(3) イメージパース

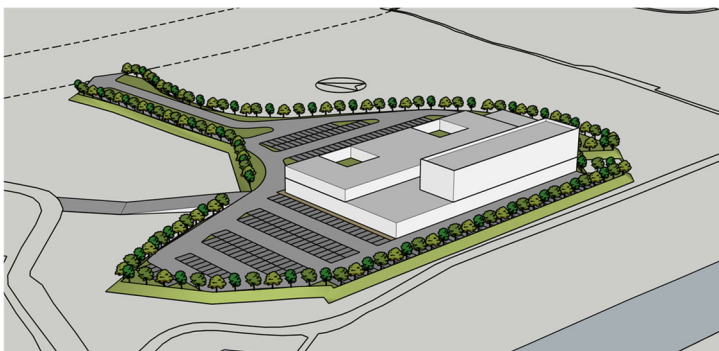


北東方向から計画建物を臨む

(3) 候補地の案内図



(2) 施設配置イメージ図



南西方向から計画建物を臨む

※(2)、(3)は、現段階のイメージであり今後変更となる可能性があります。

(4) 環境への配慮

整備候補地の周辺環境に十分配慮して、火葬場の工事及び運営を行うことが重要であると考えています。このため、以下に示すとおり、適切な環境保全のための措置を実施し、周辺環境への影響の低減に努めていきます。

- ・建設機械は、排出ガス対策型及び低騒音・振動型の機種を使用するように努めます。
- ・資材運搬車両及び施設関連車両は、排出ガス規制適合車を使用します。
- ・環境への影響に配慮した火葬炉設備を導入します。
- ・周辺の環境に配慮した意匠・色彩等とします。

(5) 概算整備費

内 訳	概算整備費（税抜き）
施設整備費（火葬炉、建物、外構）	約 8 2 億円
調査・設計費	約 6 億円
造成費	約 2 0 億円
合 計	約 1 0 8 億円

※概算整備費に用地購入費、アクセス路及び排水施設等の整備費は含まれていません。

VI 施設整備スケジュール（予定）

2024 年度 (令和 6 年度)	2025 年度 (令和 7 年度)	2026 年度 (令和 8 年度)	2027 年度 (令和 9 年度)	2028 年度 (令和 10 年度)	2029 年度 (令和 11 年度)	2030 年度 (令和 12 年度)	2031 年度 (令和 13 年度)	2032 年度 (令和 14 年度)
構想	計画 調査	事業者 募集・選定		設計	建設工事			供用 開始
・基本 構想	・基本計画 ・民間活力活用可能性調査	・事業者募集選定		・基本設計 ・実施設計				

※採用する整備手法等によりスケジュールが変更となる可能性があります。

朝霞地区 4 市共用火葬場設置基本構想
概要版

令和 6（2024）年 1 2 月

朝霞地区 4 市共用火葬場設置検討協議会

